

特別活動学習指導案

指導者 白浜町立西富田小学校 大浦 侑唄

協力者 株式会社アワーズ 真柴唱子 豊田恒介 武分渉

1. 日 時 令和6年9月～10月
2. 学 年 第2学年A組 24名、B組 25名
3. 単 元 名 おしごとそうだんセンター（7時間）
4. 教 材 名 国語科「どうぶつ園のじゅうい」（10時間）
生活科「もっと知りたい たんけんたい」（14時間）
「町のすてき つたえたい」（12時間）

5. 単元目標

（1）知識及び技能

○町で働いている人の思いを知るとともに、働くことの意義について理解を深めている。

（2）思考力、判断力、表現力等

○働くことについて、町探検で気づいたことや教えてもらったこと、体験したことを、自分らしい方法で表現している。

（3）学びに向かう力、人間性等

○身近な働く大人と関わる活動を通して、働くことについて関心をもち、意欲的に働く大人と関わったり、探検で見つけたことをまとめたりすることができる。

6. 指導にあたって

（1）児童の実態

児童の個人情報のため省略

このような児童らも含めて全員が学習活動に参加できるよう、個別の支援をしていきたい。

(2) 教材観

本単元は、国語科や生活科の単元をベースとして、キャリア教育の視点で学習活動を行う特質上、特別活動として位置付ける。本単元は、学習指導要領の以下の内容に該当する。

[学級活動]

(3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

イ **社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解**

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

学習指導要領・学級活動(3)の解説より、イでは、「働くことの意義を理解することや、多様性を認めながら、力を合わせて働いたり、学級や学校の生活の向上に貢献したりする喜びを実感すること、また、現在及び将来において所属する集団や地域の中で、その一員として責任や役割を担うことなど、社会参画意識の醸成につなげていくもの」としており、学級を児童にとっての身近な社会と捉え、学級での集団活動に主体的に参画する意欲や態度を特別活動(本単元)で養いたい。アでは、「児童が自分自身の興味・関心やよさなどの個性を理解し、将来に明るい希望や目標をもって現在及び将来の生活や学習に進んで取り組み、自己のよさや可能性を生かそうとする意欲や態度を育てること」としており、生活科の「これまでのわたし これからのわたし」との関連を図ることで、本単元で学んだ資質・能力を振り返る機会としたい。

(3) 研究の視点から

「他者との協働を通じ、自己実現を目指す」ために、児童らが意欲的に参画できるような探究的な学習を設定していきたい。そのために、ESD(持続可能な開発のための教育)との関連を図りつつ、本学習での見方・考え方や資質・能力を明らかにした学習展開を構想することで、学習者主体の学びを実現していきたい。以下に ESD との関連を示す。

《ESD との関連》

・本学習で働かせる ESD の視点(見方・考え方)

構成概念Ⅰ：多様性…児童、保護者、地域の方など、人によって意見が違い、校区の町の良さには様々なものがあるということ。

構成概念Ⅴ：連携性…動物園や学校では、たくさんの人がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいること。

構成概念Ⅵ：責任性…集団や地域の中で、その一員として責任や役割を担うこと。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

コミュニケーション力

相手や場、状況に応じた適切な行動を意識しながら、インタビューしている。

システムズシンキング

たくさんの人がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいるという点において、学校や学級、動物園などが同様の組織構造であることに気づいている。

クリティカルシンキング

表立った仕事だけではなく、影からサポートする仕事もあり、様々な仕事で成り立っていることに気づくなど、「お仕事」という既成概念を批判的に見ることができる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

つながりを尊重する態度

町たんけんで出会った人々との関わりを通し、様々な人とのつながりが豊かな学びになっていることに気づく。

幸福感を重視する

協力していくことが働く幸せの一つだと気づく。

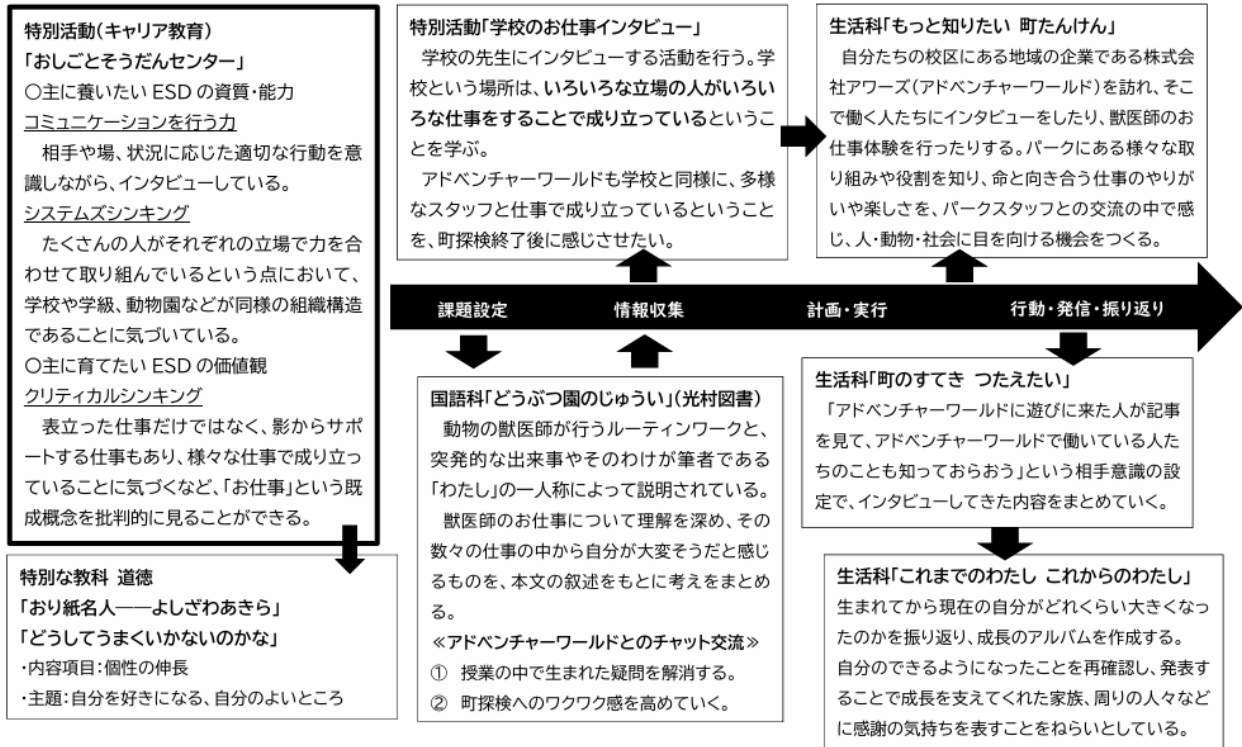
・達成が期待される SDGs

- 4 質の高い教育を みんなに
- 8 働きがいも 経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

小学校第二学年

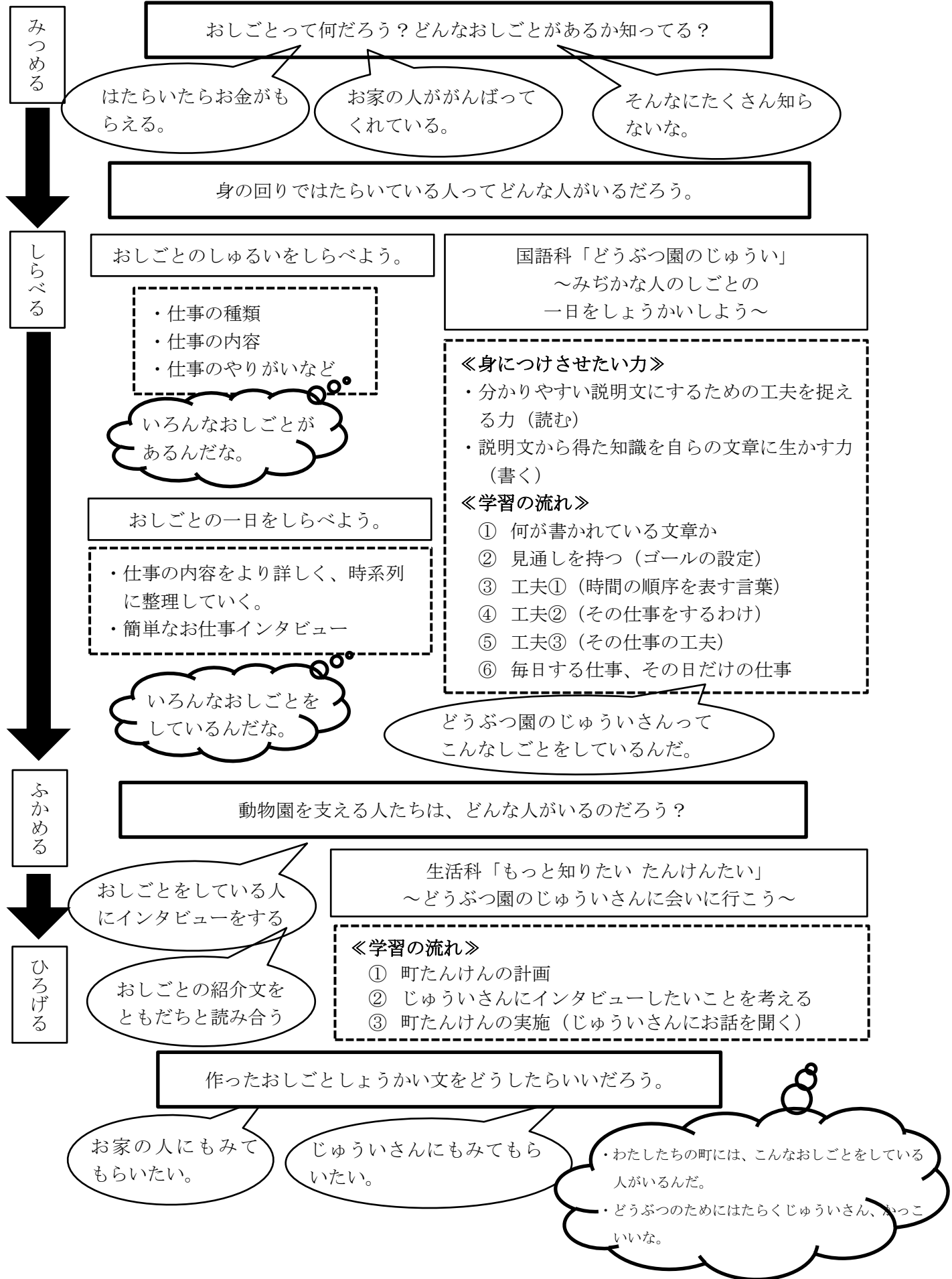
現在の学年終了時に目指す姿

自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることを知り、学級や学校、企業や社会などのコミュニティは、いろいろな立場の人がいろいろな仕事をする中で成り立っていることに気づいている。



単元構想図

2年 おしごとそうだんセンター（全43時間）



7. 指導計画 学習指導計画（全43時間 内、特別活動は全7時間）

☆は、配慮児童への支援

	次	時	学習活動 ○めあて ☆手立て	知	思	態	評価規準	評価方法
みつめる	一	1	・お仕事について関心をもつ。 ・単元のめあてを確認し、学習計画を立てる。 ○おしごとってなんだろう？ ○なんのためにはたらくのだろう？ ○どんなおしごとをしてみたい？ ○わたしたちのまわりではたっている人って、どんな人がいるだろう？？			○	・お仕事について関心もち、単元全体の学習の見通しをもって、進んで学習に取り組もうとしている。	ワークシート、発言
		学習課題①「おしごとちょうさい①」 おしごとについてしらべよう！						
		国語科	【どうぶつ園のじゅうい】10時間 《身につけさせたい力》 ・分かりやすい説明文にするための工夫を捉える力（読む） ・説明文から得た知識を自らの文章に生かす力（書く） 《学習の流れ》 ① 何が書かれている文章か ② 見通しを持つ（ゴールの設定） ③ 工夫①（時間の順序を表す言葉） ④ 工夫②（その仕事をするわけ） ⑤ 工夫③（その仕事の工夫） ⑥ 毎日する仕事、その日だけの仕事 ⑦ 自分が大変だと感じた仕事を選ぶ					
しらべる		2 3 4	○おしごとについてくわしくしらべよう。 《調べる観点》 ・いつ、どんなしごとをするのか ・おしごとをするわけ ・おしごとをするときの工夫 ・毎日するしごとととくべつなしごと（その日にだけするしごと） ☆国語科「どうぶつ園のじゅうい」で学習した見方・考え方で同じように捉えられるように、ワークシートを工夫する。			○	・必要な情報を集めながら、自分の調べたいおしごと内容についてまとめることができる。	行動観察、ワークシート

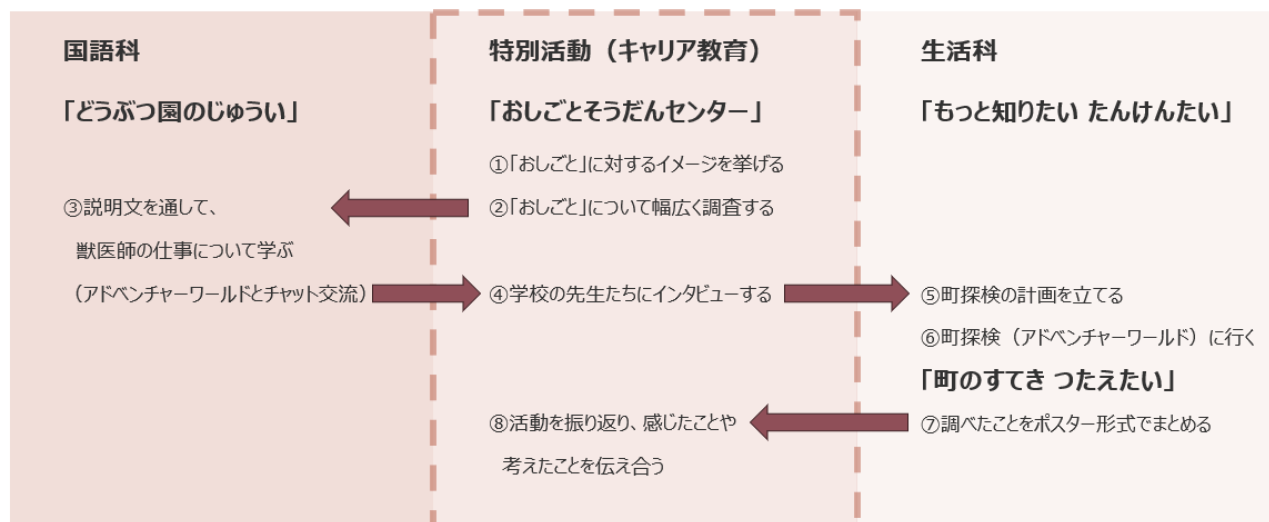
	次	時	学習活動 ○めあて ☆手立て	知	思	態	評価規準	評価方法
		5 6	○学校の先生にインタビューをしよう。 ・これまでの学習活動を踏まえてインタビューの内容を検討し、準備をする。 ・学校内でインタビューをする。		○		・学校という場所は、いろいろな立場の人がいろいろな仕事をする事で成り立っているということに気づく。	行動観察、ワークシート
ふかめる	二	生活科	学習課題②「おしごとちょうさい②」 アドベンチャーワールドへ、はたらく人に会いに行こう！					
			【もっと知りたい たんけんたい】 14時間 《身につけさせたい力》 ・町で働いている人の思いや、自分たちの生活との関わりに気づくとともに、町のよさに気づいている。(知) 《学習の流れ》 ① 町たんけんの計画 ② じゅういさんや、パークのスタッフさんにインタビューしたいことを考える ③ 町たんけんの実施 ④ ふりかえり					
ひろげる	三	生活科	学習課題③「アドベンおしごとアンバサダー」 アドベンチャーワールドのおしごとについてまとめよう！					
			【町のすてき つたえたい】 12時間 《身につけさせたい力》 ・町探検で気づいたことや教えてもらったこと、体験したことについて、自分らしい方法で表現している。(思) 《学習の流れ》 ① インタビュー内容の整理 ② 記事の作成 ③ 記事を読みあい、ふりかえる 《言語意識》 ① 相手意識：パークに遊びに来た人 ② 目的意識：パークで働く人のことを知ってもらう ③ 場・状況意識：紙面、ポスター形式 ④ 方法意識：インタビュー内容を班で共有→1枚のワークシートにまとめる ⑤ 評価意識：仕事内容、質問選択項目、所感等の書き方のモデルを示す					
		7	○活動を振り返り、感じたことや考えたことを伝え合おう。 ・振り返りカードに書く。 ・伝え合う。 ☆第1時と同様の項目について考えさせることで、活動から得られた学習の広がりや深まりについて気づかせる。	○	○		・町で働いている人の思いを知るとともに、働くことの意義について理解を深めている。(知) ・働くことについて、町探検で気づいたことや教えてもらったこと、体験したことを、自分らしい方法で表現している。(思)	ワークシート、発言

教科横断型学習「おしごとそうだんセンター」

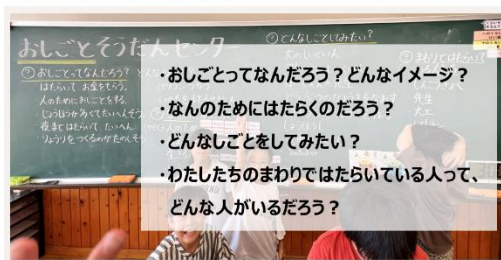
における教科研究と実践後の振り返りについて

白浜町立西富田小学校 大浦 侑唄

1. 学習の流れ



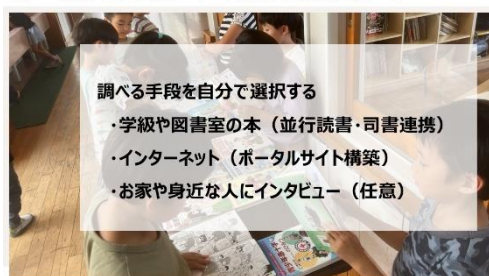
①「おしごと」に対するイメージを挙げる



おしごとそうだんセンター

特別活動

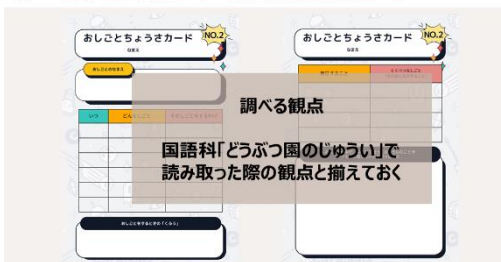
②「おしごと」について幅広く調査する



おしごとそうだんセンター

特別活動

②「おしごと」について幅広く調査する



おしごとそうだんセンター

特別活動

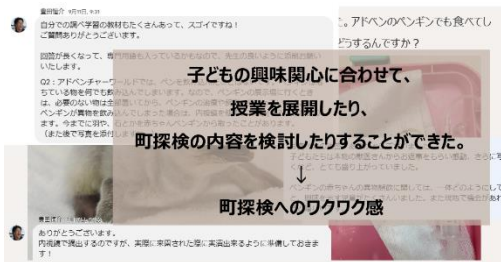
③「どうぶつ園のじゅうい」を通して、獣医師の仕事について学ぶ



おしごとそうだんセンター

国語科

③「どうぶつ園のじゅうい」を通して、獣医師の仕事について学ぶ



おしごとそうだんセンター

国語科

③「どうぶつ園のじゅうい」を通して、獣医師の仕事について学ぶ



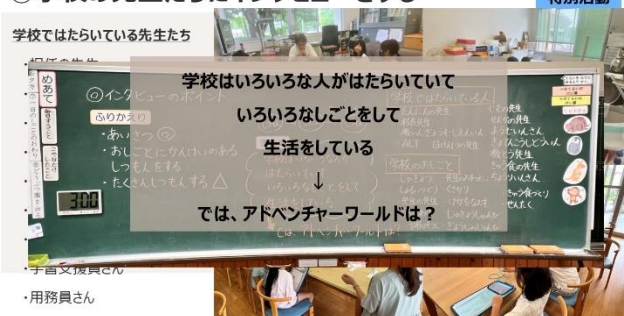
おしごとそうだんセンター

国語科

④学校の先生たちにインタビューをする

特別活動

学校ではたらいっている先生たち

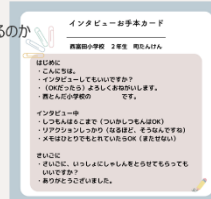


⑤町探検の計画を立てる

生活科

町探検に向けて確認したこと

- ・町探検の目的
- ・町探検でどんなことをするのか
- ・町探検で気をつけること
- ・インタビューの内容
- ・インタビューの仕方
- ・並び方
- ・あいさつ
- ・カメラマンなど



おしごとそうだんセンター

NO.3

おもしろそうだなセンター インタビューシート

名前

①	お名前を教えてください	
②	おもしろいと感じました理由を教えてください	
③	おもしろいと感じたことについて教えてください	
④	おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑤	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑥	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑦	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑧	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑨	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	
⑩	おもしろいと感じたこと、おもしろいと感じた理由、感想、思ったこと、気づきなどを教えてください	

⑤町探検（アドベンチャーワールド）に行く

生活科

スケジュール案

時間	A組	B組	C組
8:50		① オフィスを見学 AWS出発	① バス AWS出発
9:00	学校出発	② パークスタッフヘインタビュー	
9:20	到着後 観望マウンテンビュー	③ 獣医さんのお話を聞く	
9:45		④ 動物病院の見学	
10:15	動物病院見学		
10:45	AWS出発		
11:15	学校帰機	⑤ 獣医さんのお仕事体験 AWS → 学校	
11:30	学校にて終わりの挨拶		学校 → AWS

おしごとそうだもセンター

⑤町探検（アドベンチャーワールド）に行く

生活科

パークで働いているスタッフたち

- ・飼育員（サファリ）
- ・飼育員（パンダ、ふれあい）
- ・飼育員（マリン）
- ・業務課
- ・経理部
- ・運営部
- ・販売部
- ・総務、事務
- ・マイ事業部



⑤町探検（アドベンチャーワールド）に行く

生活科



⑤町探検（アドベンチャーワールド）に行く

生活科



⑦調べたことをポスター形式でまとめる

生活科

「学習の流れ」

- ① インタビュー内容の整理
- ② 記事の作成
- ③ 記事を読みあい、ふりかえる

《言語意識》

- ① 相手意識：パークに遊びに来た人
- ② 目的意識：パークで働く人のことを知ってもらう
- ③ 場・状況意識：紙面、ポスター形式
- ④ 方法意識：インタビュー内容を明て共有→1枚のワークシートにまとめる
- ⑤ 評価意識：仕事内容、質問選択項目、所感等の書き方のモデルを示す



おしごとそうだんセンター

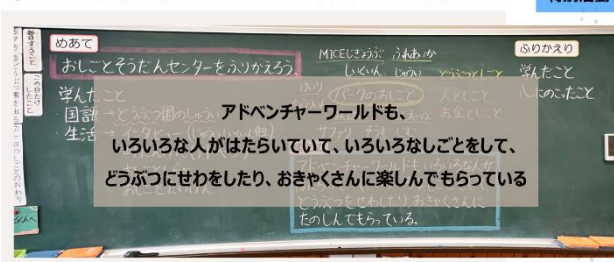
⑦調べたことをポスター形式でまとめる

生活科



⑧活動を振り返り、感じたことや考えたことを伝え合う

特別活動

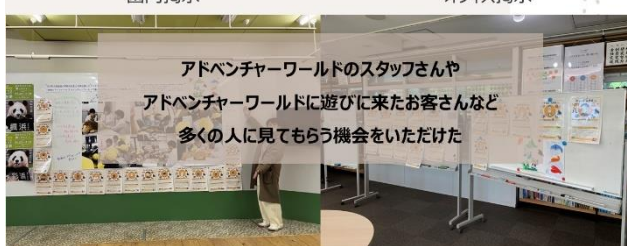


おしごととからだセンター

最終成果物とその後

園内揭示

オフィス掲示



おしごとそうだんセンター

①



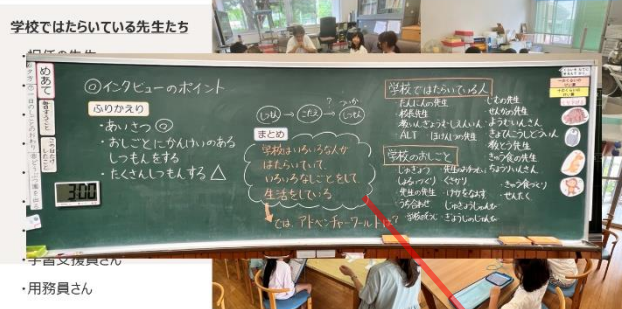
②



クリティカルシンキング…表立った仕事だけではなく、影からサポートする仕事もあり、様々な仕事で成り立っていることに気づくなど、「お仕事」という既成概念を批判的に見ることができる。

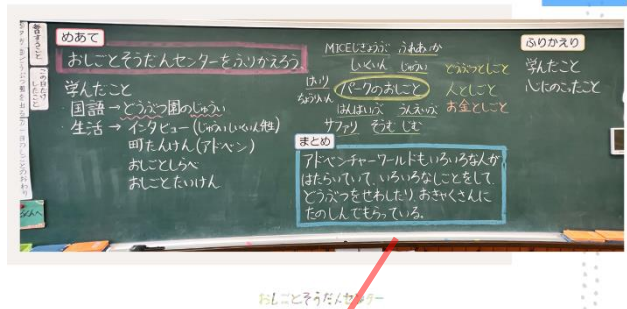
④ 学校の先生たちにインタビューをする

特別活動



⑧ 活動を振り返り、感じたことや考えたことを伝え合う

特別活動

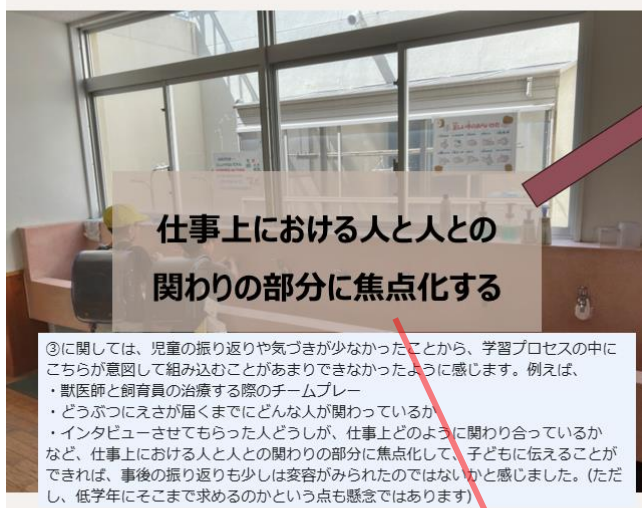


《育てたい ESD の資質・能力》

システムズシンキング…たくさんの人がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいるという点において、学校や学級、動物園などが同様の組織構造であることに気づいている。



③ 協力することの良さの涵養



学級活動、係活動、当番など



③に関しては、児童の振り返りや気づきが少なかったことから、学習プロセスの中にこちらが意図して組み込むことがあまりできなかったように感じます。例えば、
 ・獣医師と飼育員の治療する際のチームプレー
 ・どうぶつにえさが届くまでにどんな人が関わっているか
 ・インタビューさせてもらった人どうしが、仕事上どのように関わり合っているかなど、仕事上における人と人との関わりの部分に焦点化して、子どもに伝えることができれば、事後の振り返りも少しは姿容がみられたのではないかと感じました。(ただし、低学年にそこまで求めるのかという点も懸念ではあります)

《働かせたい ESD の見方・考え方》

構成概念 V：連携性…動物園や学校では、たくさんの人がそれぞれの立場で力を合わせて取り組んでいること。